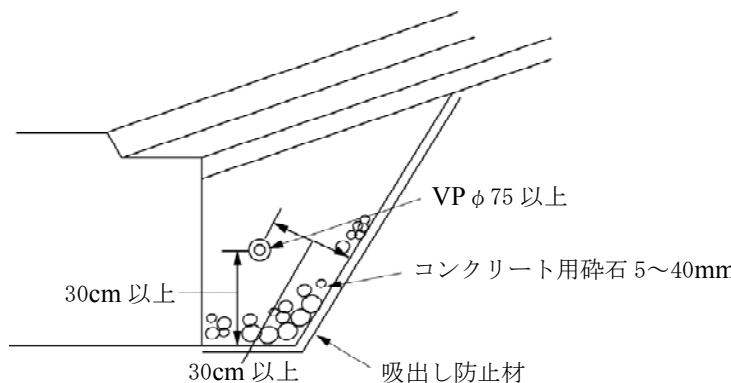
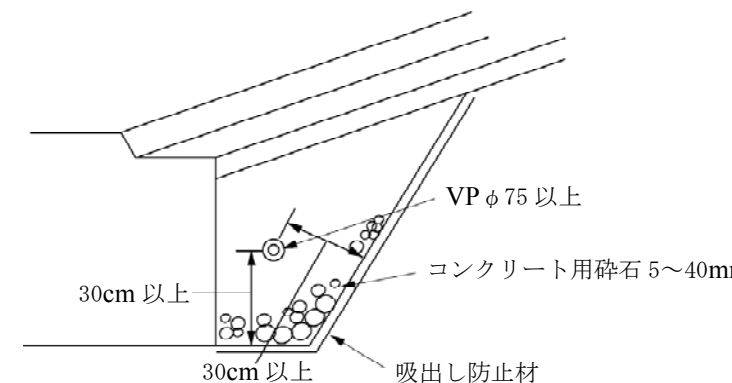
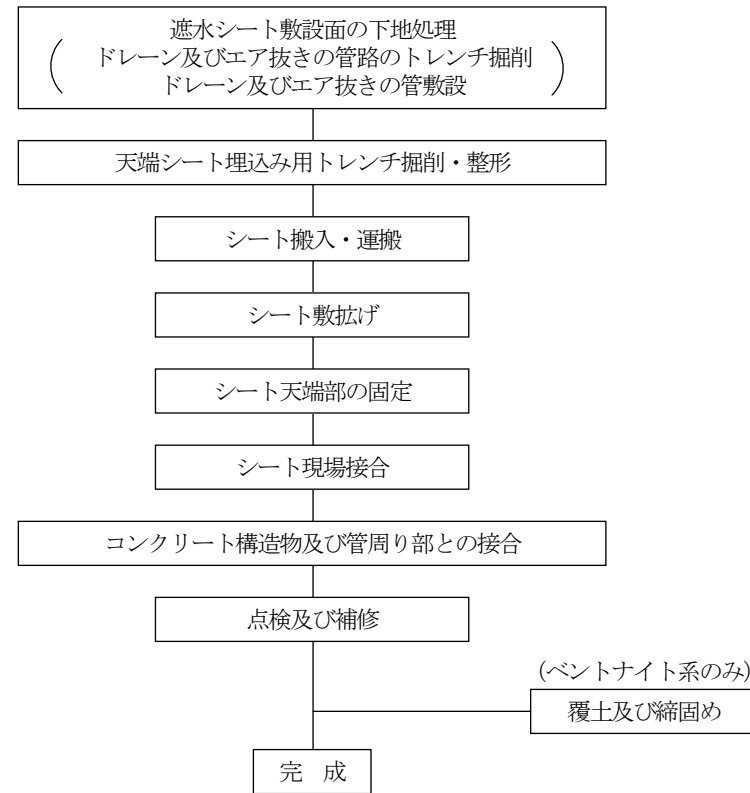
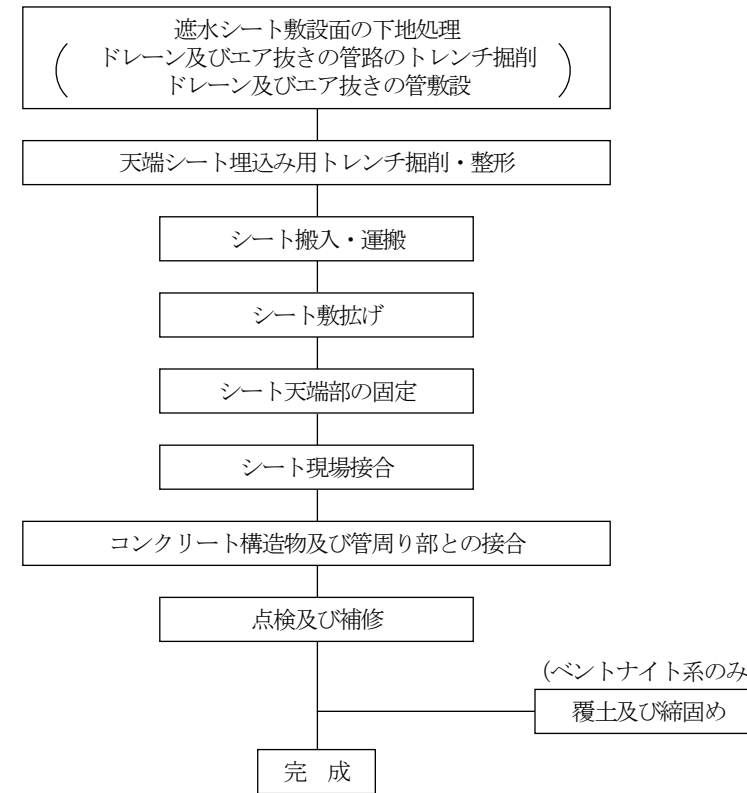


改 定	現 行	備 考
<p><b>4.1.7 遮水シートの背圧対策工</b></p> <p>遮水シートにおいては、シート背面からの圧力（湧水、地下水、エア、発生ガス等による背圧）に対する対策を検討しなければならない。</p> <p>湧水、エア等によるシートのフクレ防止対策として、ドレーン、エア抜きを設置を行う。不適切なドレーンの設置は、逆に漏水量を増加させるおそれもあるため、吸出し防止処置等に留意しなければならない。エア抜きは、ドレーン端末部と直結、又は重ねを取り、湧水排除時の真空化による排水障害を防止する。参図-4.1.7に、ドレーン施工例を示す。</p>  <p>参図-4.1.7 堤体法尻部、小段部でのドレーン施工例</p> <p><b>4.2. 表面遮水工法（遮水シート工法）の施工</b></p> <p>遮水シート材料には、前節で述べたように各種材料があるが、施工手順等はほぼ共通しているので、代表的な施工手順・方法を述べる。シート同士及びコンクリート構造物への接合方法等については、材料の違いに伴って一部異なる場合もあるが、本節では「ため池」での使用の多い合成ゴム系、合成樹脂系についての例を示すにとどめる。</p> <p><b>4.2.1 施工手順</b></p> <p>施工は、一般に参図-4.2.1の手順で行うが、接着作業等は天候に左右されやすいので適切な施工時期を選定する。</p>	<p><b>4.1.7 遮水シートの背圧対策工</b></p> <p>遮水シートにおいては、シート背面からの圧力（湧水、地下水、エア、発生ガス等による背圧）に対する対策を検討しなければならない。</p> <p>湧水、エア等によるシートのフクレ防止対策として、ドレーン、エア抜きを設置を行う。不適切なドレーンの設置は、逆に漏水量を増加させるおそれもあるため、吸出し防止処置等に留意しなければならない。エア抜きは、ドレーン端末部と直結、又は重ねを取り、湧水排除時の真空化による排水障害を防止する。参図-4.1.7に、ドレーン施工例を示す。</p>  <p>参図-4.1.7 堤体法尻部、小段部でのドレーン施工例</p> <p><b>4.2. 表面遮水工法（遮水シート工法）の施工</b></p> <p>遮水シート材料には、前節で述べたように各種材料があるが、施工手順等はほぼ共通しているので、代表的な施工手順・方法を述べる。シート同士及びコンクリート構造物への接合方法等については、材料の違いに伴って一部異なる場合もあるが、本節では「ため池」での使用の多い合成ゴム系、合成樹脂系についての例を示すにとどめる。</p> <p><b>4.2.1 施工手順</b></p> <p>施工は、一般に参図-4.2.1の手順で行うが、接着作業等は天候に左右されやすいので適切な施工時期を選定する。</p>	

改 定	現 行	備 考
-----	-----	-----



参図-4.2.1 遮水シート工法の施工手順



参図-4.2.1 遮水シート工法の施工手順

#### 4.2.2 基盤整形

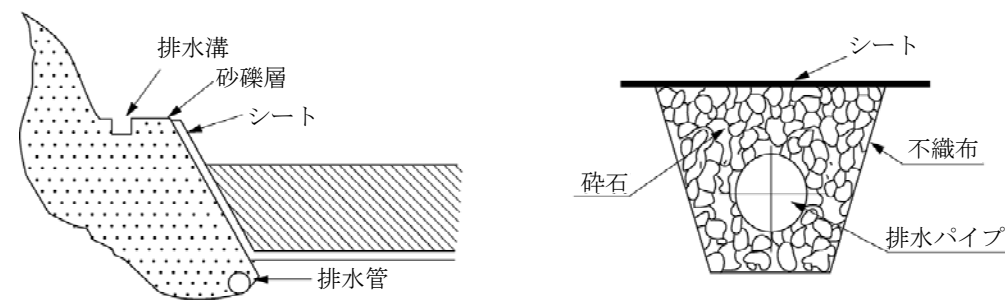
遮水シートの基盤は、平滑かつ必要な支持力を有するものでなければならない。このため、事前に基盤の力学的諸性状及び地下水位を十分調査し、適切な基盤整形面が得られるよう検討を加えておかねばならない。

#### 4.2.3 基盤処理

地下水位が高く、遮水シートに背面圧が作用するおそれのある時は、基盤整形後、適切にドレーン(参図-4.2.2、参図-4.2.3)、又は逆流防止弁付き水抜き孔を設ける。これらには必ずフィルタ層を設けなければならない。

ドレーンが基盤表面に出る場合は、ドレーン表面に十分な目つぶしを行い、水抜き孔については、基盤面にツバ等を設けて遮水シートとの結合をよくし、取付け部が漏水の弱点とならないようにする。

草木類は根茎まで十分除去し、必要に応じて適切な草生対策を構ずる。



参図-4.2.2 ドレーンの配置例

参図-4.2.3 ドレーンの断面例

#### 4.2.2 基盤整形

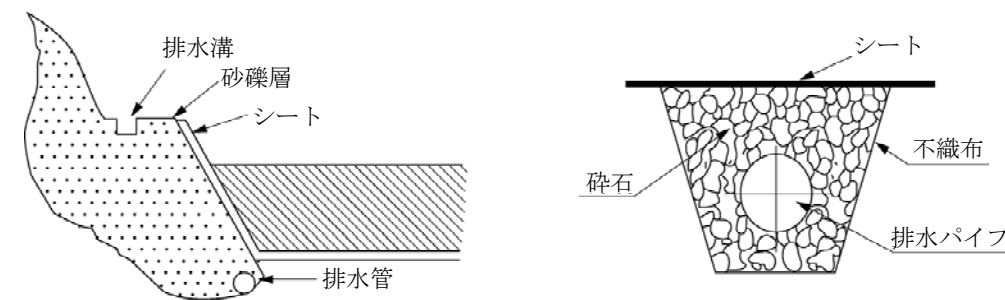
遮水シートの基盤は、平滑かつ必要な支持力を有するものでなければならない。このため、事前に基盤の力学的諸性状及び地下水位を十分調査し、適切な基盤整形面が得られるよう検討を加えておかねばならない。

#### 4.2.3 基盤処理

地下水位が高く、遮水シートに背面圧が作用するおそれのある時は、基盤整形後、適切にドレーン(参図-4.2.2、参図-4.2.3)、又は逆流防止弁付き水抜き孔を設ける。これらには必ずフィルタ層を設けなければならない。

ドレーンが基盤表面に出る場合は、ドレーン表面に十分な目つぶしを行い、水抜き孔については、基盤面にツバ等を設けて遮水シートとの結合をよくし、取付け部が漏水の弱点とならないようにする。

草木類は根茎まで十分除去し、必要に応じて適切な草生対策を構ずる。



参図-4.2.2 ドレーンの配置例

参図-4.2.3 ドレーンの断面例